

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
三菱UFJリース株式会社  
取締役社長 村田 隆一  
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

広報IR部長 太田尚志

TEL 03-6865-3002

## 三菱UFJリース 「PPP・PFI推進室」を新設

### ～事業分野の拡大が期待されるPFI事業の推進体制を強化～

三菱UFJリース株式会社（取締役社長：村田 隆一）は、今般、新たに「PPP・PFI推進室」<sup>※1</sup>を設置しましたので、お知らせ致します。

当社は、これまでに教育施設や文化施設等、様々な施設を対象としたPFI事業を手掛けており、累計で47件の事業を受注する等、国内のPFI事業者としては、トップクラスの実績を有しています。本年5月の「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（以下、PFI法）」改正により、PFIの対象範囲や手法の拡大が見込まれるため、今般、新たに専任組織として「PPP・PFI推進室」を設置し、今後、同事業の一層の拡大を図ることと致しました。

#### 1. 当社のPFI事業の実績

当社は、PFIの黎明期より事業を展開して参りました。各種ローン・リース等のファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてプロジェクト全体のマネジメントやアドバイザリー業務、SPCへの出資等、積極的な事業参加を行っています。これまでに教育施設や文化施設、水・環境施設、庁舎、宿舍等、国・地方自治体が発注する様々な施設を手掛け、累計の受注件数は47件、内代表企業としての受注が15件あり、PFI事業者として有数の実績を誇っています。

当社取組事業の施設種類別内訳



#### 2. PFI法の改正について

PFI法は、本年5月に改正され、「コンセッション方式<sup>※2</sup>」による事業運営が可能となりました。これにより公共施設の所有権を国・地方自治体が保有したまま、民間事業者が施設の運営権を取得して公共サービスを提供できることとなり、水道や空港、港湾等のインフラ分野や公営住宅等、幅広い事業分野においてPFIへの関心が高まっています。また、社会資本の更新に係る負担の増大が予想される中、財政の観点からもPFIの活用が期待されています。

#### 3. 「PPP・PFI推進室」の設置

こうした中、今後、PPP・PFIにおける事業分野の拡大、或いは事業機会の増加が見込まれることから、今般、新たに「PPP・PFI推進室」を設置することと致しました。PFI事業において、これまでに培ったノウハウ・ネットワークを活用すると共に、同事業における推進体制を一層強化することで、PPP・PFI分野での事業拡大を目指して取組んで参ります。

##### ・組織の概要

名称	PPP・PFI推進室	室長	加藤 哲郎
人員	15名	設置日	2011年11月8日
役割	PPP・PFIへの事業参加、新たな事業分野の検討等		

※1 PPP(Public Private Partnership):民間の資金・技術・ノウハウ等を活用し、官民が協力して事業を行う形態

※2 コンセッション方式:公共施設の所有権を官に残し、民間に施設の運営権(公共施設等運営権)を長期間付与する方式

(ご参考)

＜三菱 UFJ リースが代表企業を務めている PFI 事業の最近の取組事例＞



(仮称) おおぶ文化交流の杜整備運営事業  
(愛知県大府市)



戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業  
に伴う公益施設整備事業 (神奈川県横浜市)



銚子市立銚子高等学校施設整備等事業  
(千葉県銚子市)



保健所・保健センター及び地域療育センター  
(仮称) 等整備・運営事業 (愛知県豊橋市)



(仮称) 富士見こども施設整備計画  
(東京都千代田区)



富士見市つるせ台小学校、市立図書館鶴瀬西分館  
及び市立つるせ台放課後児童クラブ整備並びに  
維持管理運営事業 (埼玉県富士見市)